

これまでの経緯について

資料4-1

2024.8.6
静岡大学・浜松医科大学
統合・再編促進期成同盟会

○令和3年4月1日 日詰新学長就任

新学長選出時、学長就任時の会見で「**合意書は尊重する**」との見解を示し、浜松市、文科省、本学、報道各社に対して「これまでの議論が出発点。それを元に戻すということは考えていない」との発言



1年2カ月の間、両大学で合意書に沿った法人統合・大学再編を前提に協議

○令和4年7月5日 第4回浜松地区大学再編・地域未来創造会議

「合意書とこれまでの両大学の決定を尊重する」とのスタンスを、事前協議なく一方的に変更し、合意書に反する「**法人統合先行案**」を発表

○令和4年7月14日 静岡大学HPに学長メッセージを掲載

学長私案として「**1法人1大学案**」を発表

○令和5年3月2日 静岡大学・浜松医科大学統合・再編促進期成同盟会 発足式

浜松市長をはじめ、県内各界の代表者から**浜松地区新大学に大きな期待を寄せ、法人統合・大学再編の早期実現を求め**るご挨拶があった
静岡大学川田理事も登壇し、改めて**浜松キャンパスとして責任と情熱をもって浜松地区新大学の設立に臨む**考えが示された



○令和5年3月7日 静岡大学長と記者との懇談会

大学再編では学内が一つになることが難しいとの理由で「**モデルチェンジ案**」の検討について言及

○令和5年7月31日 第53回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

連携協議会委員にモデルチェンジ案として「**1大学2校案**」が示される

○令和5年10月16日 静岡大学浜松キャンパス3部局長記者会見

合意書の白紙撤回をも前提とした方針を決めようとする静岡大学執行部および静岡キャンパスに対して、**浜松キャンパスの部局長が危機感を表明する記者会見**を実施

○令和5年10月18日 静岡大学教育研究評議会

浜松キャンパスの反対意見を押し切る形で評議会の了承を得る
「**合意書が白紙になるわけではない**」ということを明言

○令和5年10月23日 浜松医科大学から「合意書の履行について(依頼)」を静岡大学へ発出

静岡大学に合意書の履行を依頼するとともに、「1大学2校案」は浜松キャンパス合意や地域の理解を得ていない案であり、**本学に提示することのないよう申し入れ**

○令和5年10月25日 静岡大学役員会

複数の経営協議会委員から「学内に十分説明することを求める」意見が出されたため、
「**1大学2校案**」の決定は**先送り**になり、11月、12月に1大学2校案に関する学内説明会を実施

○令和5年12月6日 静岡大学・浜松医科大学統合・再編促進期成同盟会 状況説明会

浜松キャンパスから改めて「合意書どおりの統合再編を望んでいる」ことの表明
浜松医科大学から「**1大学2校案には、各校の独立性を担保する法的根拠はない**」こと、
「合意書に定める形態は「1法人2大学」であり「**1大学2校案**」は、**合意書の範囲外の提案**であり、
法律事務所からも同様の見解が示されている」ことの説明

出席者からは、

「静岡大学が検討している1大学2校案が、合意書の1法人2大学案と比べて優れているとは思えない」

「少子化が進むなか、先鋭的な大学を作り世界から人材を集めるべき」

「創薬や医療機器開発など、静岡県の実成長戦略と合致している」などの意見が出され、

期成同盟会として合意書に基づいた大学再編を強く後押しがあった

○令和5年12月19日 第55回静岡大学・浜松医科大学連携協議会

「**1大学2校案**」は合意書の範囲外での提案で検討する余地はなく、また、浜松キャンパスの合意や地域の理解を得ていないものを本学に提示することのないよう、改めて申入れ

○令和5年12月21日 静岡大学役員会

静岡大学が「**1大学2校案**」を静岡大学の成案として決定する